



広報 いせはら

Public Relations Paper

ISEHARA

令和3(2021)年 No.1229

9月1日

主な記事

- 2 市職員を募集します
- 4 5 誰もがありのまま生きられるように



9月21日は「世界アルツハイマーデー」
9月は「世界アルツハイマー月間」

平成6(1994)年9月21日、スコットランドのエジンバラで行われた第10回国際アルツハイマー病協会国際会議において、毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」、9月を「世界アルツハイマー月間」とすることが決まりました。

認知症の原因疾患の一つであるアルツハイマー病に関する認知を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらすことを目的に、世界中でさまざまな活動が行われています◇市内で実施する啓発事業については2面で紹介します

認知症を知る

6月29日、中央公民館で地域包括支援センター職員らを対象に、VR(仮想現実)を活用して認知症患者の視点を体験する研修を実施しました。認知症は若い世代を含め誰もがなり得るものである一方、症状の理解が不足しがちであることから自分事として捉えることが難しい病気です。参加した主任児童委員の岩崎敏一さん(65歳、石田)は「想像以上に臨場感があり、驚きの連続でした。専用のゴーグルをつけると、視界全体に立体映像が広がります。足元が揺らぎ、段差との距離感がつかめなくなる感覚があり、当事者が階段を降りることの難しさなど身をもって実感できました」と話しました◇市民向けには9月17日(金)の認知症フレンドリー講座から導入します
☎介護高齢課 94-4725